

令和6年  
12月18日  
(水)

## 第4回「(仮称)泉南市認知症条例」 制定に係る検討委員会を開催しました

「(仮称)泉南市認知症条例」  
検討委員会事務局だより第4号  
発行 泉南市長寿社会推進課  
泉南市認知症地域支援推進員

第4回では、条例検討に際しこれまで市民や市内在勤の人から頂いた声が条文のどこに反映されているか、また、パブリックコメントの報告と反映方法を事務局から説明した後、条例案とタイトル案について最後の意見交換を行いました。委員からは、表現の強弱について、一人の市民として読んだ時の印象、今後この条例の広め方、など読み手の気持ちに寄り添った意見が多数上がりました。参考資料として、逐条解説案も一緒に見ていただくことで、言葉の捉え方など、様々な視点からの意見をいただくことができました。タイトル案については、前回の委員会で上がったキーワードや意見をもとに事務局で3案にまとめて提案し、当日の議論をもとに事務局で最終決定する方向性で一致しました。

この条例の検討に当たり、ご意見を賜りました皆様、ご協力いただきました委員、関係者の皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。



### 声 ~委員会で挙がった声を紹介しす~

各委員より、条例案について \*一部抜粋)



#### ■今後、条例の広め方についての意見

- ・条例を読み、期待や希望を持って窓口に来た人に、行政や専門職がどう応えていくかが課題。各個人の資質向上、改善、庁内でもその点を共有していく必要がある。
- ・逐条解説に市の認知症施策に関わってきた活動内容の記載がある。多くの人が幅広く活動していけたらと思う。しっかりと共有、周知していきたい。

#### \*事務局より

紙面の都合で詳細は省略しますが、条例案や逐条解説案で使われる言葉の印象や捉え方について、最後まで細かく議論され、様々な立場の意見により練り上げられていきました。

#### ■分かりやすさについての意見

- ・様々な声、委員の意見など、関わった人たちの思いが詰まっている。逐条解説にも泉南市独自のことが詰め込まれており、実施してきたこと、今後の方向性が、一市民として分かりやすかった。
- ・文字が多いとそれだけで身構えてしまうこともある。第一印象として読みやすく、知ってもらうことにつながると思う。
- ・条例は難しいものと思っていたが、解説があることで分かりやすく良いものだと思った。全ての人が当たり前前に認知症を理解し、自分事や家族の事として考えてもらえたらいいと思う。
- ・知らなかった言葉の意味に触れ、この条例に携わらせていただき本当に良かった。

タイトル案について(事務局3案について委員より) \*一部抜粋)

- ① 共に歩いていく思いやりのまち泉南市認知症条例
- ② 地域でつながり共に歩いていく 泉南市認知症条例
- ③ 共に歩いていく 泉南市認知症条例

#### “WAO(輪を)! SENNAN”

- W 忘れてもだいじょうぶ
- A あんしんと
- O おもいやりの町 せんなん



- ①...「歩いていく」が「まち」にかかると良い。／標語「WAO」と同じ言葉で馴染みやすい。↑／思いやりは人へのやさしさが含まれており、それが想像できる。／周りの人たちと思いやりをもって、一緒に歩いていくことが大切。
  - ②...身近で地域全体でというイメージが沸く。
  - ③...シンプルで良い。／「共に歩いていく」という言葉に思いやりが含まれる。
- その他、上がった言葉は「希望」「未来」「つながり」「笑顔」。  
→「笑顔あふれる」「思いやり」この2つの言葉を踏まえて、委員会の方向性は①を基盤にすることで全会一致。



\*事務局より ■本条例検討に際し集まった「声」の件数

2~5月:572件、6~12月:1138件、計1710件

「(仮称)泉南市認知症条例」の検討に際し、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。